



平成29年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年6月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ

コード番号 3174

URL <http://www.happiness-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田 泰夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 追川 正義

(TEL) 03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 平成29年7月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第3四半期の業績（平成28年9月1日～平成29年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	14,635	11.5	504	122.0	483	140.1	240	201.1
28年8月期第3四半期	13,122	0.5	227	△3.1	201	△2.4	80	△13.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第3四半期	95.44	92.16
28年8月期第3四半期	31.59	30.74

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第3四半期	10,017	2,135	20.7
28年8月期	9,296	1,950	20.4

(参考) 自己資本 29年8月期第3四半期 2,080百万円 28年8月期 1,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年8月期	—	0.00	—		
29年8月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,806	10.4	421	178.8	393	233.0	131	—	52.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期3Q	2,532,400株	28年8月期	2,532,400株
② 期末自己株式数	29年8月期3Q	40,000株	28年8月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期3Q	2,524,239株	28年8月期3Q	2,532,400株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等により回復基調で推移したものの、個人消費は、海外情勢の不安定化も加わり、軟調に推移しました。また、労働需給の変化に伴う人材採用難の長期化が大きな経営課題となっております。

このような状況下、当社は、厳選した新規出店と既存店対策の強化、企業イメージの向上と自社商品ブランドの確立、EC（ネット通販）事業の拡大を当事業年度の重点課題として取り組んでまいりました。また、人事面においては、店舗スタッフの待遇改善策を実施しモチベーションアップを図るとともに、人事制度全般にわたる見直しに着手いたしました。

販売活動の施策といたしましては、宝飾催事・アウトレットセール等に加えて、7店舗の新規出店にあわせたオープン協賛セールや上場5周年謝恩セール等の販促活動を実施し、新規顧客の開拓と固定客づくりに努めてまいりました。

ECにつきましては、市場規模の大きい大手通販サイト内の店舗強化を図るとともに、広告宣伝及びメールマガジンの配信等に継続して取り組みました。また、重点課題とした買い上げ率の向上については、Webサイトの改善・改修を図るとともに宝飾・時計部門の強化に努めました。

商品施策といたしましては、商品を手にとれる売り場を拡大させ、値ごろ感のある価格帯の商品や高粗利率商品の拡充に努めるとともに、高額ブランド品の予約販売会の実施、新ブランドの導入、お買い得品のセット販売や店頭演出の強化等を図ることで、売上高の向上と利益率の改善に努めてまいりました。

また、Happy Candle（ハッピーキャンドル）商品については、シーズンの新作商品を投入するとともに、客層に合った女性ファッション誌への掲載とイベント出店を実施し、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を通じたブランド認知を高める取り組みを強化することで、自社商品ブランドの確立に努めてまいりました。

商品部門別の売上の状況につきましては、宝飾品は催事等による販売強化に加え、人気商品の展開を強化したことで売上高2,480,800千円（前第3四半期累計期間比11.2%増）、時計は予約販売会を中心に高額ブランド品の販売が好調だったことで売上高4,152,434千円（同21.4%増）、バッグ・小物は手ごろな価格帯の商品に加えて、好調な高額ブランド品についても品揃えを強化したことで売上高8,002,539千円（同7.0%増）となりました。

店舗展開といたしましては、富士宮店（静岡県）、土浦店（茨城県）、広島府中店（広島県）、長久手店（愛知県）、新小松店（石川県）、熊本店（熊本県）、徳島店（徳島県）の計7店舗を新規出店いたしました。いずれも大型商業施設イオンモールへの出店であります。

一方、不振店対策として上尾店（埼玉県）、与野店（埼玉県）、和泉店（大阪府）、東員店（三重県）の計4店舗の閉店を実施いたしました。これらにより、当第3四半期末の店舗数は69店舗となりました。

店舗改装につきましては、八幡東店、大和郡山店、おのだ店について通常改装を実施、浜松店、泉南店については適正面積への変更と区画移転を伴う改装を実施、パルナ店、銀座店、久御山店等については小規模改装を実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高14,635,774千円（前第3四半期累計期間比11.5%増）、営業利益504,643千円（同122.0%増）、経常利益483,547千円（同140.1%増）、四半期純利益240,932千円（同201.1%増）となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

（流動資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、8,329,774千円となり、前事業年度末と比較して659,167千円増加しております。これは主として、現金及び預金が302,530千円減少したものの、商品が998,079千円増加したことが要因であります。

（固定資産）

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,687,687千円となり、前事業年度末と比較して61,588千円増加しております。これは主として、投資その他の資産のその他が64,207千円減少したものの、建物が65,192千円、工具、器具及び備品が48,938千円、敷金及び保証金が19,234千円増加したことが要因であります。

（流動負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、4,087,987千円となり、前事業年度末と比較して529,751千円増加しております。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が35,942千円減少したものの、仕入債務（支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計）が344,029千円、未払法人税等が129,812千円、賞与引当金が50,621千円、その他が43,029千円増加したことが要因であります。

（固定負債）

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,794,126千円となり、前事業年度末と比較して6,539千円増加しております。これは主として、長期借入金が24,351千円減少したものの、資産除去債務が7,426千円、その他が23,463千円増加したことが要因であります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、2,135,348千円となり、前事業年度末と比較して184,465千円増加しております。これは主として、利益剰余金が202,946千円増加したことが要因であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、本日（平成29年6月27日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,756,521	2,453,990
売掛金	852,087	833,272
商品	3,801,514	4,799,593
貯蔵品	112,185	117,242
その他	148,297	125,675
流動資産合計	7,670,607	8,329,774
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	600,694	665,887
構築物(純額)	22	20
工具、器具及び備品(純額)	247,896	296,834
リース資産(純額)	12,250	8,172
有形固定資産合計	860,863	970,914
無形固定資産		
ソフトウェア	23,658	20,064
リース資産	460	115
無形固定資産合計	24,118	20,179
投資その他の資産		
敷金及び保証金	539,870	559,104
その他	202,082	137,875
貸倒引当金	△836	△386
投資その他の資産合計	741,116	696,593
固定資産合計	1,626,098	1,687,687
資産合計	9,296,705	10,017,461

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	831,668	1,121,549
電子記録債務	349,946	404,095
1年内返済予定の長期借入金	1,825,346	1,789,404
未払法人税等	27,181	156,994
賞与引当金	49,520	100,141
ポイント引当金	13,731	13,944
資産除去債務	6,327	4,315
その他	454,515	497,544
流動負債合計	3,558,236	4,087,987
固定負債		
長期借入金	3,127,742	3,103,391
資産除去債務	151,160	158,586
その他	508,684	532,148
固定負債合計	3,787,587	3,794,126
負債合計	7,345,823	7,882,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	325,397	325,397
資本剰余金	312,747	312,747
利益剰余金	1,273,931	1,476,878
自己株式	-	△35,791
株主資本合計	1,912,076	2,079,231
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,621	1,370
評価・換算差額等合計	△8,621	1,370
新株予約権	47,428	54,746
純資産合計	1,950,882	2,135,348
負債純資産合計	9,296,705	10,017,461

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	13,122,819	14,635,774
売上原価	9,922,516	11,093,282
売上総利益	3,200,303	3,542,491
販売費及び一般管理費	2,973,055	3,037,848
営業利益	227,248	504,643
営業外収益		
受取利息	1,250	175
受取配当金	484	654
業務受託料	1,010	842
受取保険金	352	419
為替差益	-	1,193
その他	2,225	1,774
営業外収益合計	5,322	5,059
営業外費用		
支払利息	29,866	24,122
その他	1,334	2,032
営業外費用合計	31,201	26,155
経常利益	201,369	483,547
特別損失		
固定資産売却損	-	1,093
固定資産廃棄損	15,796	16,988
減損損失	15,095	30,499
店舗閉鎖損失	5,429	10,500
投資有価証券償還損	-	853
投資損失引当金繰入額	26,658	-
特別損失合計	62,980	59,935
税引前四半期純利益	138,388	423,612
法人税、住民税及び事業税	82,254	163,998
法人税等調整額	△23,867	18,681
法人税等合計	58,386	182,679
四半期純利益	80,002	240,932

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。